

指導資料

鹿児島県総合教育センター
令和元年10月発行

外国語 第91号

対象 中学校 義務教育学校
校種 特別支援学校

How can we improve student's writing ability?

— 私たちはどのようにして書く力を育成できるか? —

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語編では、「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。」と示されている。また、大学入試や全国学力・学習状況調査でもそれに関連付けられた問題が多く出題されている。これらの課題に対応する評価問題や授業の展開例を紹介する。

1 大学入試、全国学力・学習状況調査から

- 「あなたが大金持ちになって、社会に寄付するとしたらどのように使うか。」理由を含めて80~100語で書かせる問題（鹿児島大）
- 「サマータイム制の導入による勤務形態に賛成か反対か。」立場を明確にしその理由を150語程度で書かせる問題（琉球大）

これらの問題は、近年多くの大学が出題している「与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容について英文で書くことができるかどうかをみる」大学入試問題の例である。

上記の例だけでなく、近年の大学入試の傾向として、英文の意味を単に理解するだけでなく、賛否や感想、自分の考えを示させる出題が増えている。そのため、内容を主体的に読み取る指導の充実が必要である。

また、平成31年4月に実施された全国学力・学習状況調査において「聞く→書く」や「読む→書く」などの領域を統合する問題や自分事として考えさせる以下のような問題が多く出題された。

8 英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people waste more than 6,000,000 tons of rice every year. At home, people waste rice at home, but also at restaurants, ice cream stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really *mottainai!* We have to stop wasting food now. **What can we do about this problem?**

この問いかけに正対することが正答の鍵!

図1 読んだ内容を基に自分の考えを書く問題

図1の問題は、英語の授業で配られた食糧問題に関する英文を読み、「食料を無駄にすることをやめるために何ができるか。」に対する自分の考えを書く問題（正答率全国32.8%、県29.6%）である。解答の視点は、

- ① 具体的な解決策になっている。
- ② 理解できる内容で書いている。

このような内容を生徒が書けるようにするには、教師はトピックの設定を工夫し、生徒に自分の考えを表現する機会を継続的に与え、教師が教室英語を効果的に用いながら、教師と生徒が英語でやり取りを行うことも大切である。これらのことから次ページの評価問題とその活用を図った授業の展開例を紹介する。

2 評価問題例

評価問題の例

※ 来月から新しい ALT の先生がアメリカから赴任することになり、ALT の先生が来日される前に学校紹介ビデオレターを送ることになりました。(以下はアメリカ人留学生 Bob と日本人中学生 Yumi との会話です。)

以下のやり取りを読んで、質問に英語で答えなさい。

Bob : What are you going to do for the video project?

Yumi : I'm going to speak about the chorus contest.

Bob : That's nice. I'm going to introduce "soji time" in school.

Yumi : "Soji time"? Do you mean "cleaning time"?

Bob : Yes. That's a good thing about Japanese schools.

We try to keep our school clean so we clean our school by ourselves. We also learn a *responsibility from the "soji time".

Yumi : It is a part of Japanese culture, isn't it?

Bob : That's right.

* responsibility 責任感

〈評価問題〉

Q 1 What's Yumi going to do for the video project?

Q 2 Do you like "soji time"? And why?

Q 3 Why does Yumi say "soji time"?

Think about the reason.

Q 3 問題を解かせる際に留意したいのは、いきなり質問して答えさせる（書かせる・話させる）のではなく、言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れも大切にするために、以下のような教師の発問等で生徒の気付きを促し、答えに導いていきたい。

〈Q 3 に生徒が答えられない場合の教師の補助的な発問例〉

- Is Yumi sad, happy, or surprised?
- Does she know that "soji time" in school is a part of Japanese culture?

〈解答例〉

Q 1 She is going to speak about the chorus contest.

Q 2 Yes, I do. Because it is important for us to clean up our school.

Q 3 Because she thinks that "soji time" is not special.

Because she thinks that "soji time" is natural.

Because she thinks that every student around the world cleans their own school.

*アメリカのほとんどの学校では、Janitor という清掃員が掃除を行います。

図1の問題や、平成31年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜問題⁴7の問題にも生徒が解答できるように以下のような学習活動例を紹介する。

Q4 あなたが、Bob や Yumi の立場だったら、日本の学校の様子をどう説明しますか。以下の質問にあなたの考えで25語以上の英語で書きなさい。

※ 生徒の実態にもよるが、まず以下のような学習活動を行ってから評価問題に取り組ませたい。

〈学習活動例〉

いきなり質問するのではなく、教師自身のことを語る



I am going to introduce our school festival to our new ALT. First, we can watch dances, dramas, and singing on that day. Second, we can also see the students' teamwork every year. So I like the school festival very much. What are you going to tell the ALT about our school, Jyuri?

※生徒が応答できない時は選択肢を与える。(clubs?, sports day?, lunch time?)

最初の応答を受けてやり取りを継続させる(一人一人の反応を大切に取り上げる)



Oh, clubs, Good!
I like club activities, too.
What club are you a member of, Jyuri? The baseball club?

..... club.



..... No, the track and field club.

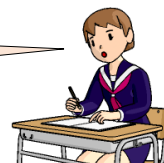


やり取りを中断しないように、生徒の意図をとらえて英語で応答する



Oh, you are a member of the track and field club. Do you practice every day?

Yes. We practice every day.

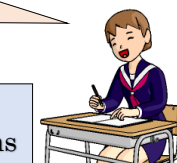


英語が苦手な生徒には、一文が長くないように切ったり、ポーズを十分にとったりして伝える



I see... Can I practice, too?
Can I join?

I will ask my coach.
But I think you can practice, too.



やり取りを継続・発展させながら話題を元に戻す
既習の文法事項に関する誤りの修正は、やり取りを妨げないように気付けさせる



Wow! Thank you, Jyuri.
Everyone, do you have any questions about the track and field club?

How many members does your club have?

Our club have twenty members.



質問に答えることで、何を言えればいいか分かってくる。相手にも質問しよう!

他の生徒に質問を促す



Your club has twenty members.
Thank you very much, Jyuri.

Next, Kenji, What are you going to tell the ALT about our school?



何を言えればいいか分かってきたぞ!

② Good topic!
③ Why did you choose the school trip?

① I am going to introduce our school trip.

④ Because it was a great memory for me.

⑤ That's interesting. Thank you, Kenji.

⑥ Anyway, Jyuri, how will you introduce our school to the ALT?

他の生徒に質問を促す、また、最後の場面では、再度 同じ生徒に最初の質問を振ることもできる

I am going to tell them about our track and field club. Our team has twenty members. We practice every day. You can also join our team practice. I enjoy track and field every day.

○ 生徒に自信をもって活動させるためにホワイトボード等にキーワードのみ記入させ、リテリングからの活動も効果的です。

Good! Jyuri. Now, everyone, talk to your friends about what you are going to introduce to the new ALT.

このような学習活動を繰り返し行うことで生徒に自信をもたせQ4のような評価問題に意欲的に取り組めるようにする。(日々の積み重ねが大切である。)

〈解答例〉

I am going to tell you about sports day. We hold sports day in September. It is the most exciting school event. We practice hard for it. I like it very much because we can built strong relationships with our classmates every year. (43 語)

「話すこと」の内容を「書くこと」につなげることで、誤りに気付き、修正を加えながら正確さを高める活動をさせることが大切である。

その際、まず生徒同士で誤りを確認させてから、教師が英文を回収・分析して、どのような点につまずいているのかを明らかにして、その後の指導に生かしていきたい。

〈国立教育施策研究所教育課程研究センター授業アイデア例を基に作成〉

3 指導を行う際の留意点

学習指導要領解説においては、以下のようにも示している。

「導入－本論－結論」や「主題－根拠や具体－主題の言い換えや要約」など、文章構成の特徴を意識しながら、全体として一貫性のある文章を書くことができるようにすることが重要である。

そのため、生徒に自分の意見を「話す」、「書く」際に英語の文章の構成の特徴も意識させながら表現させることや、接続詞や副詞などのディスコースマーカーに着目させながら、文や段落をつなげる指導も同時に行いたい。

4 まとめ

言語の習得は日々の積み重ねが大切であり、前述した学習活動例もすぐに生徒ができるようになるものでもない。初めは文単位から、徐々にまとまりのある文章に取り組めるようにする教師の手立ても必要である。継続的に教師が良質の英語のインプットを教室英語や Teacher Talk 等で継続的に行い、定着につなげたい。

－ 引用・参考文献 －

- 文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』平成29年7月
- 国立教育施策研究所 令和元年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会資料 令和元年8月
(教科教育研修課 真正 基道)